

**アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は8年間インフルエンザの発症が報告されておられません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュNEWSをダウンロードによりご覧頂けます

風邪をひいてしまいました。もう10日以上寝込んでいます。今年の風邪はしつこいですね！！会社に出勤したら、あら不思議、弊社のコンピューターが4台も風邪をひいて再起不能、ついでに静岡工場のコンピューターも2台起動が不能に。こんなにいっぺんに不幸が重なる事が有るのか。本当に今年はついてない。

おかげでアークフラッシュNEWSもデータが再起できないままに現在、復帰作業中です。

## インフルエンザの発生状況

**インフルエンザが発生している地域では** 大阪 345件、山梨 144件 兵庫 120件 神奈川 90件 東京 77件となっている。大阪、兵庫が特に高い率を示しているのは、どのような理由が考えられるのか？それは地域的にケチだからではないのか？と思うふしが有る。マスクにしても、予防にしても、先に投資して予防するという考え方が普及していないのではないかと考えられるのであります。(江戸っ子が勝手に想像してますが)営業に回っていて感じる事は、関西では良い提案をすると、その提案によって直ぐに儲からないと納得しないようなやり取りを感じます。東京の人口密度に対しての77件は大多数の人の予防に関してのレベルが高いのではと思うのです。

青森、愛媛、高知、大分、長崎では発生件数は0である。

**師走となり寒くなってきました。**寒がりの私は、嫌な季節が「また来たのか」と思っています。さて、府が主催した「京都府新型インフルエンザ対策フォーラム」で国立感染症研究所研究員の岡田晴恵さんの講演を聴いて、背筋が寒くなりました。日本では年間、約1000万人がインフルエンザに感染し、高齢者を中心に6000人から3万人が亡くなっているそうです。これだけに驚いたのではありません。今話題になっている新型インフルエンザが発生すれば、免疫を持っている人がいないため、厚生労働省は国民の4人に1人が感染し、最大で64万人が死亡すると推計しています。ところが、岡田さんは「この数字は甘い」と断言し、海外の研究所のデータなどから「最悪の想定で日本人の650万人が死亡」という数字を示されたのです。新型インフルエンザウイルスはまだ発生していませんが、04年に京丹波町の養鶏場のニワトリでも確認されたH5N1型鳥インフルエンザウイルスの変異から生まれる可能性が高いと考えられています。中国、東南アジアを中心に15カ国で387人がこの鳥インフルエンザに感染し、245人(63%)が死亡しています。しかも「40歳以下の小児、若年成人に患者、死亡者が集中している」とい

とがこのインフルエンザの特徴です。航空機などの高速大量交通機関が発達した現代、新型インフルエンザはどこで発生しても1週間で世界中に広がるとみられています。各国は既にワクチンの備蓄を始めています。中には全国民分のワクチンや薬を用意した国もあるそうですが、日本のワクチン備蓄目標は3000万人分です。この数では全国民に行き渡らず、医療関係者やライフライン従事者、政治家、地方自治体の長ら「社会機能維持に必須の職種」の人が優先されます。また、治療薬とされているのはタミフルですが、異常行動を起こす恐れがあるとして、10代への使用が原則禁止されている薬です。このままでは感染、死亡の危険性が高いとされる子供たちがワクチンや治療薬から見放される心配があります。恐怖をあおるようなことばかりを書いて申し訳ありません。

数年前に騒がれた重症急性呼吸器症候群 (SARS)もそれほど広がらなかったではないか」などの意見もありますが、岡田さんは「気休めの情報は逆効果」と言い、「新型インフルエンザの発生は if(起こるかもしれない)ではなくwhen(いつ起こるか)の問題だ」と警告します。そして「食品や日用品の備蓄、発生時にはどうするかなど個人でできることは準備しておくこと。しかし、ワクチンの備蓄やライフラインの確保など個人の力ではどうしようもないことについては、情報を共有し、必要なことを関係者に言うことが大切だ」と訴えました。備蓄は食品やワクチンだけではありません。命を守るためにも、パニックにならないためにも、知識、情報も前もって蓄えましょう。

アークフラッシュに NEW タイプ！！只今、試験中

アークフラッシュに性能の高い吸着剤とのコンビで吸着した臭いの物質を近接距離で分解し、吸着剤の寿命も大幅にアップさせたタイプの塗料を開発した。

吸着剤のみの塗料生産も可能となり、用途を大幅に拡張できるのが特徴となっている。ちなみに使用されている吸着剤は、活性炭なみに吸着能力を発揮し、天然の土壌物質であるために公害や化学物質過敏反応を起こさない。

この吸着物質のポリープに 6nm という非常に微細な光触媒をはめ込んだものが今回の塗料の原料となっている。

**\* 発行責任者 :株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.co.jp](mailto:sasagawa@arc-flash.co.jp)

過去のアークフラッシュNEWS はホームページよりご覧になれます。